

借金妻

1

寝取られ

ポンプミ魂

町内会長の無限性欲に私は...



ひろこ
寛子
行ってくるよ

あぁッ

ちよつと待って
マー君

お弁当
忘れてるよ

はい♥

今日はすぐ
帰ってくるんでしょ

晩ご飯
何がいい？

どうも


たなか ひろこ
妻 田中寛子 (35歳)





結婚して
3年が経ちました


彼は中学の同級生で
5年前に同窓会で再会し
そこから交際が始まって
3年前に結婚しました



性格は温厚で優しく
心配りがあって一緒にいて
とても落ち着けます

結婚したら恋愛感情も
薄れていくかと思っただけ
子供がいらないせいか
まだまだラブラブで毎日
恋人のように過ごしてます

少し頼りないところは
あるけど結婚して
3年経った今でも彼の
ことが大好き



頑張って子供も生んで
もっと幸せになって

その幸せがずっと
続いてほしいと思ってる

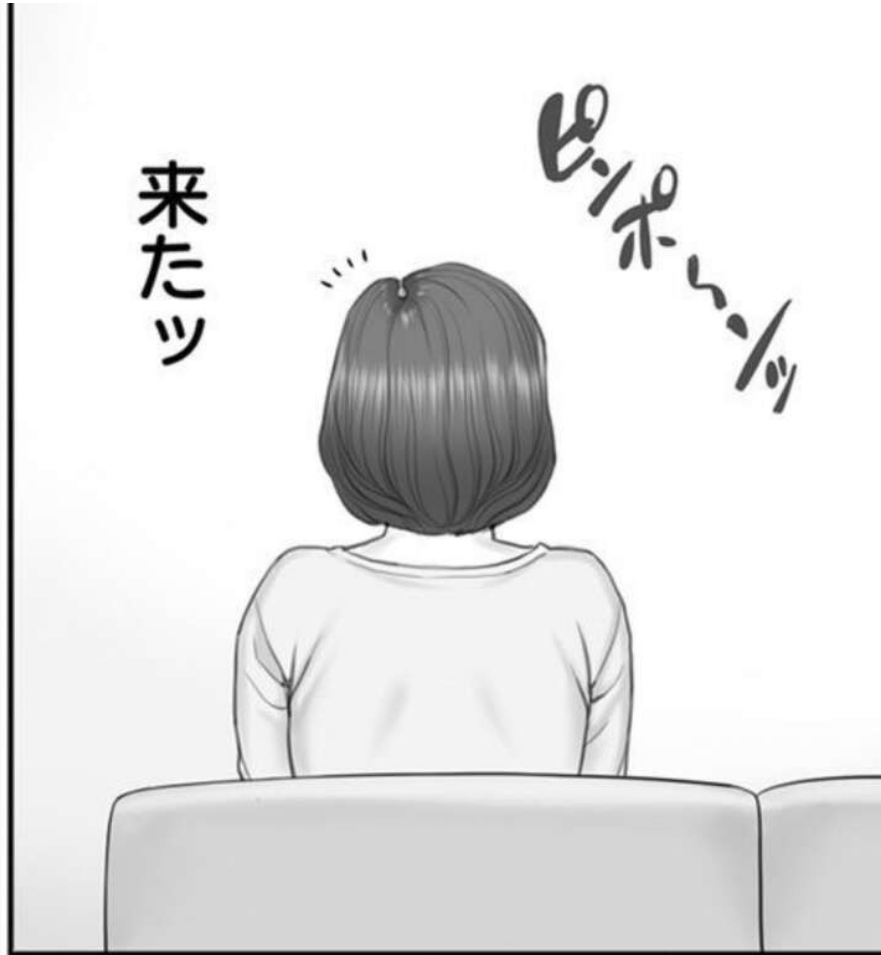
でも私にはそんな彼に
秘密にしている事が
1つだけあるんです…

そろそろ
来るころね…



はい…

カチャ…



来たッ

ピッポいっっ



今日もいい
天気ですな

どうも奥さん
おはようございます

やまもとよういち
町内会長 山本洋一 (58歳)



どうぞ…
上がってください

お邪魔するよ



困りましたなあ…
今日は無理ですか

あれだけ
約束したはず
ですが…

す…
すみません

今ちょっと仕事が見つからなくて…

ずっと探してるんですが時間の都合で中々…

まあ旦那さんに内緒ですからフルタイムで働くというわけにもいかんでしよう

気持ちはお察しします私無理強いはしたくない

あの…必ずお返ししますんでもう少し待っていただけませんか

来週までに今月分はお支払いできると思いますので

分かりました…

無いものはしょうがない今日は気持ちだけ受け取っておきますよ



事の始まりは
1年前！



本当に
すみません

私はこの人に
200万円の
借金をしています



色々とお世話を
してくれたのが
町内会長の
山本さんでした

この地域に
引っ越してきて
何もわからない
私たち夫婦に

ゴミ出しの方法から
地域の祭りや町内行事など
丁寧に教えてくださり

高齢者の多い町内会で
上手く打ち解けてやって
いけるか不安だった私たち
夫婦にとって近所で唯一
頼れる存在でした

役員の番が回ってきた
時も引越したばかり
という事で会長の特別な
計らいで次の方に
引き継いでもらったりと

色々と親身になってくれて
夫も私も気のいい会長さんに
ずっと感謝していました

ところが
ある日一

奥さんこれダメですよ
これは一緒に
捨てられないんです

うちの回収業者は
結構厳しいんですよ

そ…
そうなんですか

ごめんなさい
知らなくて

それと…

こんな紙切れが入ってましてね

そ…
それは

借金の明細票
でした

夫に隠して
捨てたのを
見られてしまって

か…勝手に
他人のゴミ探らないで
もらえませんか…

まあ奥さん
落ち着いてください
悪気はないんです

たまたま目に付いてね
ごめんなさいね
プライベートな事を

ただ…余計なお世話かも
しれませんが何か困ってる
ことがあれば相談でも
乗りましようか

……

決して安い金額
じゃないのでね…
なんだか心配に
なっちゃいました

借金の原因は私の
買い物依存症でした

昔から精神的に不安定に
なると衝動的に買い物物を
してしまう癖があつて
気付いたら夫に内緒で
100万ほどの借金が
出来ていました

その話をしたところ
会長さんが親身に
相談に乗ってくれて

無利子でお金を
貸してくれる事
になったんです

馬鹿な私は借金を
借金で穴埋めする
その場凌ぎの多重債務を
繰り返し結局200万まで
膨れ上がってしまった

で…でも
そんな大金…

いやいや返してくれる
なら構いませんよ

第1その額だと
アルバイトでも
元本は減って
いかないでしょう

私が立て替え
ますから
ゆっくり返して
いけばいいよ



それから何とか
50万は返したものの

残りの150万円は
まだ返せていません



最初は
断ったものの

御好意に甘え
結局私はお金を
借りる事にしました



奥さん

はい…



もし奥さんが
良ければ
なんですが…

スッ…



もし返すのが
難しいというなら
これはあくまで
私からの提案
なんですがね

はい…

嫌なら
断ってください



私と1回寝て
頂ければ…

毎回3万円
お支払いします

それを借金の返済に
当てていけば…
いかがでしょう

ホッ…



うわっと

やだッ
触らないでッ

ッ
ッ
ッ



風俗で働くより
割がいいでしょう

……ッ!

ッ
ッ
ッ



……

調子に
乗らないで
ください

何言うんですか
いきなり……

結局こういう
事だったんですね

通りで甘い話だと
思いました

普通は何百万も
簡単に貸しませんから

お金のことは
感謝してるけど
それとこれとは別です
勘違いしないでください

お金はちゃんと
働いて返します

貴方とのお付き合いも
今後は改めさせて
いただきます

帰ってください！

いや〜：
すいませんね
怒らせちゃった
みたいで

無神経
すぎましたか

まだ
言うんですか



これはあくまで
私からの提案
ですから

奥さんが働いて
返すというなら
それもいいでしょう

ただ…もし何か
思い返すことが
あればいつでも
連絡してください



ふんツ…
結局これが目的
だったんじゃない

あんな変態オヤジ
今まで信用してきた
私が馬鹿みたい

とは言った
ものの…

冷静になって考えて
みると厳しい現実
何も変わらず…

強気になって
働いて返すとは
言ったけど…

「ごら辺のバイトは
全部断られちゃったし

そもそもこんな田舎じゃ
選べるほどの仕事も無い
自転車で通える所なんて尚更…
やっぱり働いて返すのは無理だわ

毎月3万円
お支払いします

風俗より
割がいいでしょう

そんな…
売春なんて…

許し難い会長の言葉が
なんだか重苦しく
押し掛かっています

どうしよう…
どうすればいいの…
このままだといずれ
借金も夫にはれてしまう

今お金の事で
迷惑掛けられない
住宅ローンも
組んだばかりだし
1人で何とかしないと…

何か無い
かしら…

もつと一気に
大金が手に
入る方法を…



一晩考えた末—
私はある事を
思いつきました

しかしこの思いつきが
後に取り返しの付かない
「危険な交渉」だったなんて
この時はまだ知る由も
ありません



翌日ー

やあどうも奥さん
先日は失礼しました

で…急に
電話を掛けてきて
これまた珍しい
何かありましたか

『あの…』

『先日のお話
なんですが…』

ええ

一回『30万円』
頂けるなら
考えてもいいですよ

ただし…
キスと本番行為は
無しです



別に嫌なら
結構ですよ

私としても困る事は
何もありませんので

どうせならと
とんでもない額を
吹っ掛ける事にしました
値踏みされた事の悔しさと
いくらまで出せるかという
好奇心が入り混じっていました



さッ：
30万円ですか！

いきなり
そんな：

しかもその
ような条件で

苦肉の策でした
ても他に方法が
思いつかなかったのです



ちよッ：ちよつと
待ってください
30万円というのは
大変な額ですよ

『ええ：
分かってます』

貴方に貸したお金は
必死に仕事で貯めてきた
お金なんです

『なら
止めますか？』

いッ：いやッ：

ちよつと待ってください
少しだけ時間をください
近いうちに必ず
お返事しますから



やっぱり
断ろうとも
思いました

しかしいくら
考えても風俗で働くか
この提案を飲んでもらう
以外に現状で借金を
返す方法はありません

心の葛藤が
無かったわけでは
ありません

しかしキスも本番も無しで
30万も貰えるなら風俗で
働くより何倍もマシです

数日間悩み続け
私はこの認めたくない現実を
受け入れ始めていました

それに…夫とのこれからの
将来を考えれば考えるほど
今我慢しても片付け
なければいけない問題だと
思いました

不安と罪悪感を押し殺し
『身体を触らせるだけ』と
自分を言い聞かせ会長の
返事を待ち続けました

そして1週間後—

いやー奥さん
連絡が遅れて申し訳ない
色々忙しかったもんでね

『はい…』

で…
この前の件
なんですがね…

その提案
乗りましょう

「ほ…
本当ですか」

ええ…
本当です

「キスと本番は
無しですよ？」

もちろんです

ただし…

1つだけ
条件があります

「はい…」

30万お支払いして
もし仮に奥さんに
素っ気無い態度で
やられたら私は
後悔しか残りません

そんな事に30万も
失うわけにはいきません

「はい…」

いざとなれば奥さんが
お金だけ貰って
そのような投げやりな
態度に出ることも出来る
それでは困る

「はい…」

なので誠意を見せて
ほしいんですよ誠意を

「誠意…ですか…」

その誠意を見せてもらって
判断したいんです

「……」





どしたの？

別に
なんでもない♡



ん…？

ズン…



ごめんねマー君…
今の私はこの方法
しかないの

本番無しで
1回30万も
貰えるんだよ
身体触らせるだけ
だからね

風俗で何十回と
男に抱かれるより
マシだよ

馬鹿な私を許してね
すぐに終わるから



寝取られ借金妻

～町内会長の無限性欲に私は…～

(1)

著者 ポンコツ魂

発行 たかだ書房

この物語はフィクションです。登場する人物・事件・団体・名称等は架空であり、実在のものとは一切関係ありません。

本作品の一部あるいは全部を無断で複製・転載・配信・送信・放送・譲渡またはアップローダーサイトに掲載する事を禁止します。

本作品の使用につきましては、あらかじめ弊社宛に許諾をお求め下さい。